

写) 東京三栄会幹部、研修委員

2017年8月吉日

東京三栄会会員各社 社長殿

～三井物産グループ～
東京三栄会研修委員長
横井 裕雅
(東京三栄会事務局)

「新入社員パワーアップ研修」開催御案内のこと

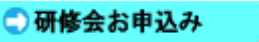
拝啓 貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は東京三栄会 (<http://www.san-eikai.or.jp/about/index.html>) 研修委員会主催の研修に御参加頂き、誠に有難う御座います。

4月に入社された新入社員の方々も、そろそろ会社にも慣れ、社会人、企業人としての自覚と責任を強く感じ始められたことと思います。東京三栄会研修委員会では、「新入社員研修」をご担当頂いている有限会社シフト 嶋田講師をお招きして、新入社員の方々を対象とする「パワーアップ研修」を実施することと致します。三栄会の同期新入社員と一堂に会し、「自己理解・対人関係・今後のキャリア」等について自己の現状の棚卸をし、再び共に学ぶことにより、仲間意識を醸成しながら、成長を確認できる機会となりますので、是非とも御参加頂き度、御案内申し上げます。

敬具

記

1. 日 程 : 2017年10月5日(木)～6日(金) 一泊二日 [集合] 10/5 10:00 [解散] 10/6 16:00 (予定)
2. 講 師 : 有限会社シフト 嶋田寿孝 氏
3. 場 所 : 三井物産(株) 人材開発センター (湯河原)
〒413-0001 静岡県熱海市泉 428-3 TEL: 0465-62-0804 / FAX: 0465-62-0450
E-mail: mjinzai@dg.mitsui.com / URL: <http://www.mitsui-mbp.co.jp/jkc/index.html>
4. 対 象 者 : 今年度新入社員
(4月実施の新入社員研修への参加有無に関係なく、新入社員の方であればどなたでも受講して戴くと大変有用な研修でございます)
5. ね ら い : ①近況報告を通じて、自己の現状の棚卸をし、今後の方向性を見定める
②コミュニケーション・スキル向上のための切り口を明確にする
③対人関係能力の基礎である自己理解能力を科学的に深耕する
④参考: 推薦本『働くひとのためのキャリア・デザイン』金井壽宏著 (PHP 新書)
6. 定 員 : 40名
7. 受 講 料 : 1名につき¥40,000
上記費用は研修費、教材費、宿泊費、食費を含みますが、往復交通費は各社にて別途御負担願います。
* 東京駅起点、片道 500 km から御参加の場合は、交通費の一部 (1万円) 補助金制度が御座いますので、御活用下さい。
8. 前泊について : 本研修受講の関係で前日より宿泊を御希望される方には、同センターでの前泊を御用意致します。
申込フォームへ必要事項明記の上、お申込下さい。
《ご参考》宿泊費¥7,020/夕食¥1,836/朝食¥864 (税込)
9. 申込方法 : 三栄会ホームページ  より **9月11日(月)**迄にお申込下さい。

尚、お申込が20名に満たない場合は中止する事もありますので、予め御了承下さい。
御不明な点につきましては、下記事務局へお問合せ下さい。

東京三栄会事務局 : 三井物産(株) 事業統括部 企画業務室 和田/野田
(TEL: 03-3285-7816,7808 / E-mail: SaneikaiTKAOI@mitsui.com)

以上

東京三栄会主催「新入社員パワーアップ研修」プログラム

東京三栄会研修委員会

時間	1日目 10月5日(木)	時間	2日目 10月6日(金)
	(集 合)	7:45 朝食 8:45 チェックアウト及びルームキー回収	
10:00	◎オリエンテーション ◎グループづくり ・グループ内自己紹介 ・ガイドラインの作成	9:00 ◎昨日のふりかえり ◎コミュニケーションのコツ ◎TA(交流分析) ・5つの自我状態 ・やりとり分析 ・エゴグラム	
12:00	昼 食	12:00	昼 食
13:00	◎近況報告と現状の共有化 1. 新入社員研修時に学んだことで 職場や仕事で実践していること 2. 企業人になって良かったこと 3. 現在抱えている悩みや不満 ◎コンセンサス実習 「主要100社採用計画調査」 ・個人決定 ・グループ決定討議 ・正解発表と効果測定 ・グループ内での私の行動	13:00 ◎各自の性格と人生脚本 ・人生脚本の分析 ・ストローク ・禁止令 ・ドライバー ・脚本からの脱却	
18:00	1日目終了(予定)	16:00 アンケート提出後解散(バス乗車)	
18:30	夕食懇親会		研修のねらい 1. 近況報告を通じて、自己の現状の 棚卸をし、今後の方向性を見定める。 2. コミュニケーション・スキル向上 のための切り口を明確にする。 3. 対人関係能力の基礎である自己理解 能力を科学的に深耕する。

※休憩は適宜設けます。

※スケジュールは進捗状況により変更する場合があります。